

事例

県や金融機関と連携した短期大学の地域食育推進の取組
(第3回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)やまなし
山梨学院短期大学 (山梨県)

山梨学院短期大学では、学生たちの食育実践力の育成と地域貢献を目指し、「食育推進ボランティア」を卒業必修科目「社会人基礎力育成講座Ⅱ」に位置付け、山梨県や地元金融機関と連携して、地域の食育活動に取り組んでいます。学内に設置した地域研究連携センターをボランティアの受付窓口とし、食育推進ボランティアの依頼受付や調整、学生への情報の提供、活動支援を行う体制を整えています。学生は、ボランティア先との日程調整や活動内容等の調整を自ら行い、個人やグループで主体的にボランティア活動に取り組んでいます。

児童養護施設に入所している児童を対象とした料理教室は、平成19(2007)年度から年2～3回開催し、将来の自立に向けて料理を学ぶ機会を提供し、入所者の調理技術が向上するよう取り組んでいます。また、保育所や幼稚園での食育活動を年40回以上実施しており、実物の野菜や学生が手作りした教材を用いて、子供の食に対する興味、関心の向上等を育む活動を行っています。同時に、これらの活動には、現場の保育士や栄養士にとっても、食育について改めて考えるよい機会になっているとの感想が寄せられています。

さらに、平成23(2011)年から、地元金融機関との連携事業で、小学生以下の子供から夢のケーキのデザイン(構想)を募集し、入賞作品を実際に学生が製作してプレゼントする「ドリームケーキプロジェクト」を実施しています。「ドリームケーキプロジェクト」は、子供に食の楽しさを伝える機会となっており、令和元(2019)年度は約700件の応募がありました。

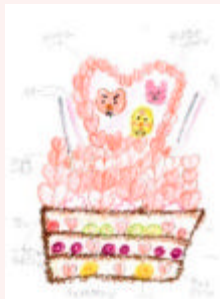
これらの活動は、学生の食育活動の実践力の育成(食育の重要性の認識、食育活動の企画力、指導力等)や地域貢献の意識の醸成(地域の一員としての自覚、地域で生きる上での社会性の重要性の認識等)にもつながっています。山梨学院短期大学は、次の時代を担う栄養士、製菓衛生師、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を多く地域に送り出しており、県全体の食育県民運動の原動力の一つとなっています。



保育所・幼稚園での食育活動



学生が作成した教材(絵カード)を用いた食育ゲーム



「ドリームケーキプロジェクト」で子供がデザインしたケーキのイラストと、実際に学生が製作したケーキ

第3章

地域における食育の推進